



平成22年10月28日

	観光振興推進本部
担当者	久柴、篠崎
内線	2645
ダイヤルイン	895-2645

「長崎県観光動向調査」について

本県の平成22年4～6月期における観光動向について、
別添のとおりまとめましたので、お知らせいたします。

本県では、平成19年1月より、観光客数の動向（トレンド）を適宜把握する
目的で、年1回公表の「長崎県観光統計」とは別に、観光動向に関する調査を実施
し、3ヵ月毎にその結果を「長崎県観光動向調査」としてお知らせしております。

調査概要の詳細は別添資料をご参照願います。



新しいNAGASAKIが、はじまる。

長崎県観光動向調査

(平成22年4～6月分)

主要指標

	対象施設	延宿泊客数 利用者数	対前年同期比	
			増減率	増減数
主要宿泊施設	172	984千人	+1.3%	+12千人
主要観光施設	22	1,760千人	+8.5%	+138千人
西海パールシーリゾート、 原の辻展示館を含む24施設		1,990千人	+16.4%	+281千人

()主要観光施設の動向については、「西海パールシーリゾート」における九十九島水族館の開業(21年7月)、「一支国博物館」の開館(22年3月)の影響が大きい
ため、両施設を除いた22施設の合計値を主要観光施設利用者数としている。

概況

主要宿泊施設の宿泊客数は、1～3月期に続いて、2期連続で増加し、4～6月期全体で1.3%増となった。

主要観光施設の利用者数についても、1～3月期に続いて増加し、4～6月期全体で8.5%増となった。

増減の主な要因としては、次のポイントが考えられる。

- ・ 大河ドラマ「龍馬伝」効果により、坂本龍馬ゆかりの地として長崎への注目が高まったこと
- ・ アジアを中心とする外国人観光客が急速に回復していること
- ・ 宮崎県で発生した口蹄疫の影響を受け、イベントの中止や旅行を手控える動きが見られたこと

主なブロックの動向

【長崎・西彼ブロック】

大河ドラマ「龍馬伝」の影響により、宿泊客数は対前年6.3%増となった。また、長崎歴史文化博物館やグラバー園等の関連する観光施設では、入場者数が大幅に増加した。

【佐世保・西海・東彼・北松ブロック】

4月下旬に第1弾のリニューアルを実施したハウステンボスでは、5月から入場者数が前年を上回った。また、昨年まで大幅に減少していた外国人観光客の急速な回復もプラス要因として作用し、ブロック全体の宿泊客数は対前年2.7%増となった。

【平戸・松浦ブロック】

平戸大橋の無料化により平戸城、松浦史料博物館の入場者数は大幅に増加したが、昨年4月の鷹島肥前大橋開通からの反動、ツアー客の減少等により、宿泊客数は対前年19.2%減となった。

【島原半島ブロック】

宮崎県で発生した口蹄疫の影響等により、6月は宿泊客数が大きく落ち込んだものの、小浜温泉の足湯「ほっとふっと105」のオープン効果などにより、4～6月期全体の宿泊客数は対前年0.8%増となった。

【五島ブロック】

6月に五島市で開催予定であったトライアスロン大会が口蹄疫の影響で中止されたことや、一部施設が建替えに伴う閉館中であったことなどから、宿泊客数は対前年16.7%減となった。

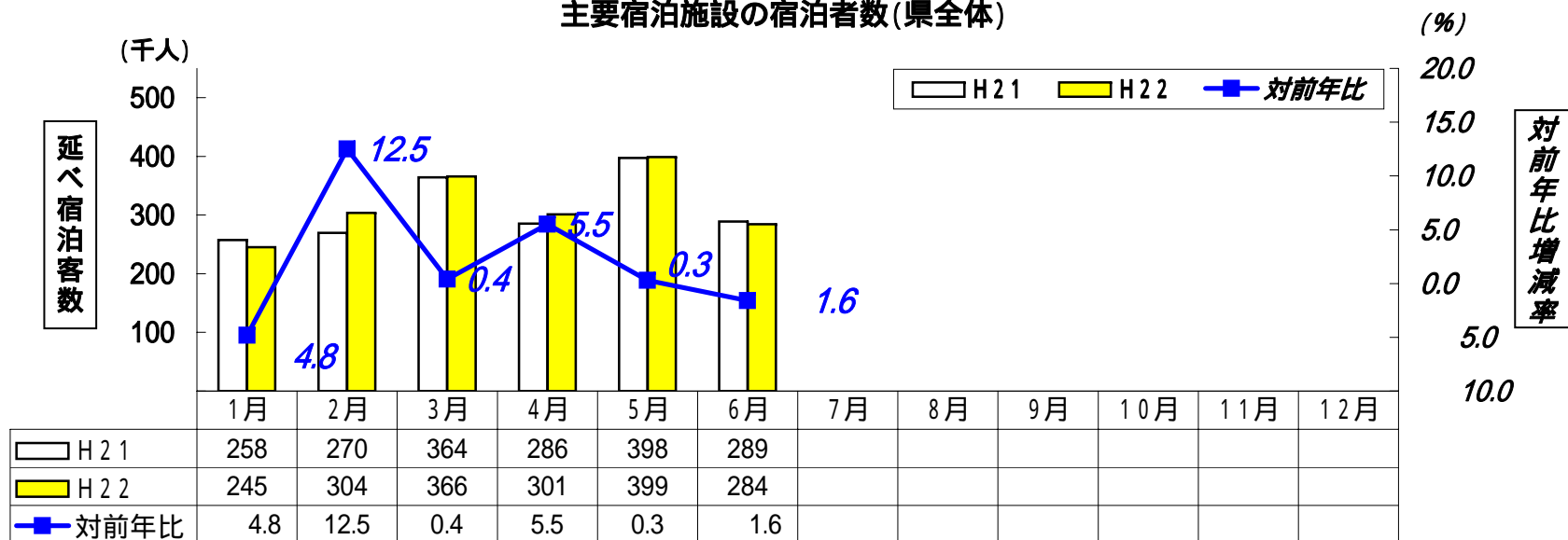
(参考)外国人観光客の動向(ご協力いただいた施設のみのサンプル調査)

外国人宿泊客数は、1～3月期に続いて2期連続で増加し、前年同期に比べ74.5%増加した。(参考資料)

特に、中国、韓国、シンガポールからの宿泊客数は、前年同期の2倍以上となった。

参考資料 主要宿泊施設・観光施設の月別動向（県全体）

主要宿泊施設の宿泊者数(県全体)



主要観光施設の利用者数(県全体)

